

在日朝鮮人関係 資料集成 戦後編 全10巻

朴慶植編



●復刻の辞——朴慶植氏(22～98)は、『在日朝鮮人関係資料集成』(三一書房刊)を刊行後、その続編にあたる「戦後編」の資料収集を始め、その構成・目次まで作成しつつあった。氏の突然の死によって、この作業は中断され、在日朝鮮人運動史研究会が引き継ぐこととなり、同研究会のメンバーは、遺族の了解を得て、全資料を再構成し、全一〇巻として刊行することとなった。

弊社では、収録する資料が膨大な量になるため、四面付方式により復刻、全四回に分けて配本する。また、各巻巻頭には、それぞれ「解題」を付す。

ここに収録した資料は、すべて朴先生秘蔵のもので、解放直後のこれまで見ることができなかった貴重資料多数を含んでいる。戦後日本社会の中で、厳しい状況にあった「在日」の運動を知ることが、とりも直さず日本人一人一人の立場を問い質すこととなる。

研究者・評論家のみならず、実践家も含め、広く本資料集成が活用されることを願う。

●概要——A4判・上製・総4、100頁

●資料——収録資料約300点、新聞・雑誌約60タイトル

●解題——小林知子・宮本正明・長澤秀・金栄・高柳俊男

●価格——揃本体価格2800、000円＋税

戦後の在日朝鮮人運動に関する基本資料・重要文献を収録——不二出版

日本社会の国際化の突破口を拓く

姜在彦 ●花岡大学教授

いまは在日韓国・朝鮮人を見る目も大きく様変わりしているが、戦争直後の日本では「第三国人」といわれていた。かれらにたいするイメージはヤミ市、暴力、ヒロポン、ドロブクの密造などなど、あらゆる社会悪の代名詞のようにみられていた。

だから日本政府の対朝鮮人政策も、帰化者のほかは「強制送還」による排除の一点にしばられ、長崎県に大村収容所をつくったのも、そのためであった。

もちろん朝鮮にたいする植民地支配の実態と、その責任が問われることもなく、そのなかで派生した在日朝鮮人問題をみる正しい視点も欠落していた。

在日朝鮮人問題にかんする資料収集と、その研究をつうじて、植民地支配にたいする日本の戦後責任を告発しつづけてきた先覚者が、まさに朴慶植さんである。朴さんが収集した在日朝鮮人関係の資料は、その生活史および運動史を包括する広範な内容のものであるが、このたびの資料集(戦後編)は、戦後の運動史にしばられている。

もちろん北朝鮮を支持する朝鮮総連側も、韓国を支持する韓国国民側も、それぞれの立場から運動史を刊行しているが、客観的でありうるはずがない。

朴さんはすでに、他人の追従を許さないユニークな戦前・戦後の在日朝鮮人運動史を出版しているが、この資料集にはそのために使われた戦後運動史にかんするオリジナリティな資料が網羅されている。

私が初めて朴慶植先生にお目にかかった頃——それは今から四二、三年前のことだが——、すでに先生は資料の中に埋もれていた。当時先生は大田区雪谷に住んでおられたが、そのお宅を訪ねた時の光景は、今でも脳裏に焼き付いている。お宅は土間と一部屋だったように思うが、三方にびっしりと天井まで、本が積まれ、当時朝鮮の本など二〇冊もなかった私は、心底仰天し、先生に対する畏敬の念を一層深めた。——そしてこの時が、私が先生の蔵書を拝見した最初で最後になったが……。その後も先生は資料を集め続けられた。私がたまに古書展に足を運ぶと、必ず先生もいらしていた。時には同じ本を希望し、抽選になったこともあった。

しかも先生は単に研究者が資料を集めたのとは、意味が違う。先生自身、在日朝鮮人として、朝鮮中・高等学校の、後には朝鮮大学の教員として、在日朝鮮人子弟の教育や運動に身を投じ、そのなかで朝鮮語を学び、歴史を研究し、そうすることによって、みずからを鍛えていった。ときには批判にさらされ、ときには挫折しながら。

つまり自らに在日朝鮮人史を生き抜かれたのである。特に七〇年に朝鮮大学校を辞して以来、一貫して在野の研究者として、試行錯誤を重ねながら、しかも研究条件が困難になればなるほど、研究への意欲を燃え立たせていった。その背後には、夫人をはじめ御家族の血のじむような支えがあったと思う。

そのようにして、集められた資料を「見せてください」というのは、はばかられた。かくして、朴慶植資料は伝説となった。その資料を、研究者としても第一人者であった先生が、御自分で刊行しようと準備していたのである。貴重な資料でないはずがない。

それが突然の交通事故で中断された。その仕事を先生と一緒に長いあいだ「在日朝鮮人運動史研究会」で共に研究した若手研究者が引継ぎ、解題を書くという。先生がどんなに喜ばれるかという感傷を越えて、その解題は力作ぞろいとなるだろう。

全生涯をかけた「朴慶植資料」

宮田節子 ●早稲田大学講師

一九四七年十月

一九四八年度活動方針

附 規約草案

第四回定期全体大會提出

在日本朝鮮人聯盟中央委員會

朝鮮の一般活動方針 (草案)	二
序論	三
一、在留同胞の生活危機防衛	三
二、民主文化民主教育の急進的向上	六
三、文化活動方針	六
四、教育活動方針	八
五、第一相徴を確立して民主主義民族意識を	一四
六、朝鮮の性格	一四
七、在留同胞の生活危機防衛	一五
八、朝鮮の性格	一七
九、朝鮮の性格	一七
十、財政活動方針	一九
十一、世界民主勢力の具体的提議	二四
十二、在留同胞の生活危機防衛	二六
十三、世界民主勢力の具体的提議	二七

朝鮮の一般活動方針 (草案)

序論

解放以前、完全解放、自主独立を成し遂げなければならない。二ヶ半年後、国内、国外を問わず、全民族が団結して、自主独立を成し遂げなければならない。国内では民主主義の確立を成し遂げ、国外では世界民主勢力の具体的提議を成し遂げなければならない。朝鮮民族の民主的力を、この活動方針に集中して発揮しなければならない。

一、在留同胞の生活危機防衛
在留同胞の生活危機防衛は、在留同胞の生活危機防衛の第一である。在留同胞の生活危機防衛は、在留同胞の生活危機防衛の第一である。在留同胞の生活危機防衛は、在留同胞の生活危機防衛の第一である。

二、民主文化民主教育の急進的向上
民主文化民主教育の急進的向上は、在留同胞の生活危機防衛の第二である。民主文化民主教育の急進的向上は、在留同胞の生活危機防衛の第二である。民主文化民主教育の急進的向上は、在留同胞の生活危機防衛の第二である。

日韓両国の歴史認識の差

姜徳相 ●滋賀県立大学教授

このたび朴慶植編『在日朝鮮人関係資料集成 戦後編』全一〇巻が刊行されることをよろこびたい。

本書が収録する「在日朝鮮人問題」は一見、一般日本人には関係のない、見えにくい存在である。そして、見えない存在であるがゆえに指紋押捺や外国人登録の携帯義務などの差別・排外、人権侵害を半世紀にわたって権力の棘として存在させ、なお存在し続けさせているのは事実である。大村収容所の存在を知る日本人はすくないが、その存在が戦後民主主義の虚妄性を語ってあまりあるという人もいられる。筆者はその一人である。

一方、南北朝鮮は不毛なイデオロギー対立に在日同胞社会をまきこんでその存在を矮小化し棄民視し、歴史の同質性を認めようとしなかった。いまなお、本国の若者の多くが在日の歴史に無知であるのはその生きた現実の証拠である。

しかし、死角の部分やかくされた部分により事の本質があるのはいままでもないし、その意味で、日本・韓国双方が意識的に欠落させた朝鮮人の在日の歴史性を問う文書にみちみちた本書は、過去の不条理をあぶりだし深く重く認識の変改をせざるものである。

内容は民族団体、統一問題、教育や権利擁護、民族紙・誌など多岐にわたるが、その一つ一つが少数者の生存権を問う日本社会論であり朝鮮現代史でもある。日韓の歴史認識の差が叫ばれて久しいが、共に「隗より始む」べきである。知らないことは恥であり罪である。両国の多くの研究者が利用・活用し、歴史の空白が埋められ、研究に友好共存に寄与されることが望まれる。

末尾に一言、本書は故朴慶植先生がその生涯をかけ心血を注いで蒐集した膨大な個人蔵書がもとになっている。先生は資料集刊行の構想をもたれ部分的には編集に着手されていたかに聞いているが、その頃から先生の周辺でもう学んできた小林知子・宮本正明・長沢秀・金栄・高柳俊男の諸氏が先生の遺志を継承し、膨大な文献を綿密に系統的に整理し、適切な解題を付して本書の価値をたかからしめている。

民族の子

朝鮮人学校問題

1954年1月30日発行
東京都立朝鮮学校教育職員組合
情報宣伝部 編集発行
東京都北区上十条二〇二二
(定価 20円)

はしがき	2頁
第一章 過去と現在	2頁
兒童の精神生活	2頁
第二章 戦前に於る朝鮮人の生活と教育	4頁
第三章 「解放」から返神教育事件迄	11頁
第四章 全国学校閉鎖事件(49年10月)	13頁
をめぐつて	13頁
第五章 二・二八反三・七事件	16頁
第六章 強制送還問題	17頁
第七章 私立移管問題	19頁
第八章 人権は何処へ	21頁
義務教育権剝奪問題	21頁
第九章 六項目問題	23頁
第十章 六項目受諾のもたらしたもの	26頁
第十一章 廃校通告をめぐつて	27頁
第十二章 朝鮮人学校と日本国民との結合	27頁

「我が国に生まれて来たものは、我々が人権を保障する責任を負ふべきである。我々が人権を保障しないならば、我々は人権を保障する責任を負ふべきである。我々が人権を保障しないならば、我々は人権を保障する責任を負ふべきである。」

朝鮮人學校問題真相報告會記錄

昭和二十三年五月十六日
東京神田教育會館において

○司會者(平野義太郎氏) 私は平野義太郎でございます。今後の國際平和を築き上げて行くためには、世界の諸民族が眞に友愛をもつて、相互に平等の原則を維持して、お互に尊重し今つて行くことの上に乗られるものであらうと思つております。ことに日本の場合、大東亞戦争まで、近隣の朝鮮の民族、あるいは中國の民族に對して、背醜なる收奪の上に帝國主義的支配が行われました以上は、今後の日鮮兩民族の眞の友愛を作つて行くためには、根本的に立場を變えて行かなければならないのは當然であります。然るに、この度の朝鮮人の學校事件に端を渡した神戸、大阪の大事事件は、この見地から致しまして極めて不幸なる、極めて不祥なる事件でありました。私は、在日朝鮮人が朝鮮語で自分達の子供に、とくに地理や歴史という、日本の教科書では盡しえない、また誤つて居るから、朝鮮人が編纂した教科書で朝鮮人の先生によつて、

《収録一覽》

- ### 第1巻 『在日朝鮮人連盟関係 1』
- 第七回中央委員会々々録(一九四六年八月二日~四日) 在日本朝鮮人連盟
 - 〔朝鮮第三回全国大会別報告書並参考書類〕一九四六年一月
 - 月 朝鮮第三回定期大会々々順/朝鮮人生活擁護闘争計画要綱/社会部活動報告書/中総経済部活動経過報告/外務部活動報告/八月十七日衆議院本会議に於ける密航取締並に治安維持に関する緊急質問演説(速記)/國際情報報告(外務部)/國際情報報告附録第一篇・第二篇(外務部)/学院の活動報告(朝鮮中央高等学院)/青年部活動報告/予算案草案ほか/朝鮮一般活動方針備考/推熊三郎氏の演説を駁す/声明書(推熊三郎氏演説に対する見解)/文化部活動報告
 - 処務規程 在日本朝鮮人連盟中央總本部 一九四六年一月一日
 - 日
 - 第十回中央委員会議事録 在日本朝鮮人連盟 一九四七年五月一日
 - 第十一回中央委員会議事録 在日本朝鮮人連盟中央總本部 一九四七年九月二日
 - 第十四回全体大会提出一九四七年度決算報告・一九四八年度予算報告 在日本朝鮮人連盟中央委員会 一九四七年一〇月
 - 第四回定期全体大会提出一九四八年度活動方針 在日本朝鮮人連盟中央委員会 一九四七年一〇月
 - 第十三回中央委員会議事録 在日本朝鮮人連盟中央總本部 一九四八年一月二七日
 - 第十三回中央委員会経過報告
 - 第十五回中央委員会文教部活動報告書(一九四八年七月二六、二七日) 朝鮮人連盟中央總本部
 - 一九四八年度朝鮮連第五回全体大会提出活動報告書 在日本朝鮮人連盟中央委員会第五回全体大会準備委員会
- ### 第2巻 『在日本朝鮮人連盟関係 2』
- 全体組織統計表(一九四八年二月現在) 在日本朝鮮人連盟中央總本部 一九四八年三月
 - 第七回定期大会提出一般活動報告書 朝鮮東京本部 一九四八年一〇月一日
 - 第三回定期全国大会提出報告書(一九四八年一〇月一~三日) 在日本朝鮮民主青年同盟中央委員会
 - 〔カイロ宣言ほか〕 朝鮮總本青年部 一九四六年二月二〇日
 - 本國特派員報告(第二轉) 在日本朝鮮人連盟中央總本部
 - 民主主義民族戦線結成大公議事録〔抄〕 在日本朝鮮人連盟 一九四六年八月一日
 - 〔本國特派員林興圭氏が尹權委員長に送つた報復書〕 一九四六年一〇月一六日
 - 祖國情報集
 - 朝鮮民主臨時政府樹立促成人民大会
 - 三三運動の歴史的意義 在日本朝鮮人連盟中央總本部 一九四八年三月一日
 - 深川事件の釈放闘争 在日本朝鮮人連盟江東支部 一九四九年七月二五日
 - 深川事件法廷闘争記録 朝鮮解放救済会
 - 深川事件最終弁論資料
 - 訴状 団体等規正令濫用の不当解散・財産接收等取消の訴え 在日本朝鮮人連盟 一九四九年九月
 - 訴状 団体等規正令濫用の不当解散・財産接收命令の取消及び接收財産返還請求の訴〔抄〕 在日本朝鮮人連盟東京本部
 - 訴状 団体等規正令濫用の不当解散・財産接收命令の取消及び接收財産返還請求の訴〔抄〕 在日本朝鮮民主青年同盟東京本部
 - 宣言・共同綱領 朝鮮民族在日同胞人権擁護共同闘争委員会 一九四九年二月二三日
 - 団体等規正令濫用による朝鮮不当解散取消公判速記録(一九四九年二月二日) 在日本朝鮮解放救済会
 - 団体等規正令濫用による朝鮮不当解散取消公判記録 第
- ### 第3巻 『在日本大韓民国居留民関係』
- 一回 在日本朝鮮解放救済会
 - 裁判官訴追請求書
 - 台東公会館事件公判記録(二一四回/五一一四回) 朝鮮解放救済会・台東公会館事件被告団
 - 旧在日本朝鮮人連盟財産事件判決記録 在日本朝鮮人連盟中央常任委員会 一九四九年六月一〇日
 - 二回 在日本朝鮮解放救済会
 - 規約・住所録
 - 在日本大韓民国居留民団規約
 - 事務章典 在日本大韓民国居留民団
 - 全国本支部住所録 民団中総地方部 一九四九年八月二五日現在
 - 全国本支部住所簿 民団中総組織局 一九五〇年三月現在
 - 全国本支部住所録 民団中央總本部 一九五一年四月調
 - 〔全国本部団長名簿〕
- ### (中央報告書)
- 第七回中央議事會提案書 執行部・議長団 一九四九年四月四日
 - 第七回中央議事會報告書 民団中央執行部 一九四九年二月四日
 - 第八回全体大会報告 民団中央執行部 一九四九年一〇月四日
 - 第九回全体大会経過報告書 民団中央執行部 一九五〇年一〇月二日
 - 第十一回臨時全体大会報告書 民団中央總本部 一九五一年四月三・四日
 - 第十一回臨時全体大会報告書 民団中央執行部 一九五一年四月三・四日
 - 臨時全体大会建議案 東京本部 一九五一年四月三日

- ・第十一回臨時全体大会場で無断配布された文書内容の真相調査報告の件 民団第十一回臨時全体大会調査委員 一九五一年
- ・声明書 第十一回臨時全体大会議場に無断配布された怪文書の実態は無根である(附・調査委員代表の談話) 金光男 (民団中央総本部議長) 一九五一年五月一日
- ・(第十二回中央議事会報告書) (一九五一年二月一日)
- ・執行機関報告書(一九五一年四月九日〜六月一日) 民団中央総本部
- ・第十六回中央議事会・第十五回全体大会執行機関報告書 民団中央総本部 一九五一年一月三・四日
- ・(民団中央小冊子・通牒・要領類)
- ・法的地位に就て(在留同胞の当面問題第一冊) 民団中央総本部
- ・国籍確定と退去及財産問題(当面の緊急問題第六分冊) 民団中央総本部 一九四九年一月三日
- ・愛国闘士李相錫君僑民葬に関する件(附・葬儀委員名簿) 金載華(大韓民国僑民葬委員長) 一九五〇年五月三日
- ・愛国闘士故李相錫君大韓民国僑民告別式案内状(附・葬儀委員名簿) 金載華(大韓民国僑民葬委員長) 一九五〇年五月
- ・遊説隊派遣に関する件 朴性鎮(中央総本部組織局長) 一九五〇年八月四日
- ・義勇軍召集待機に関する件河一清(民団中央総本部文教局長) 一九五〇年八月十七日
- ・滅共強調旬間実施要領(一九五一年六月二二〜三〇日) 民団中央総本部
- ・韓国動乱戦歿将士及犠牲者追悼会・韓国動乱一周年記念滅共民衆激起大会(一九五一年六月二五日開催) プログラム
- ・檄 民団中央総本部 一九五一年六月二五日
- ・想起せよ! 同族虐殺の暴凶 三八線の侵略を!! 民団中央総本部 一九五一年六月二五日

- ・決議文 停戦条件要請民衆大会議長 一九五一年七月一日
- ・外国人登録証切替に際しての要請事項 洪賢基(民団第十五回全体大会議長) 日本政府法務大臣宛 一九五一年一月四日
- ・登録切替に際しての民団要望事項に対する 回答の件 中村茂(入国管理局総務課長) 洪賢基宛 一九五一年一月一日
- ・声明書 外国人登録に関して 民団中央総本部 一九五一年一月一日
- ・外国人登録更新に関して 第二次交渉経緯に関する件 羅鐘卿(民団中央総本部民生局長) 一九五一年一月二〇日
- ・在日韓国民族総激起民衆大会趣旨書
- ・非常対策委員会(規約案) 民団中央総本部 (民団地方本部・支部)
- ・北緯三十八度線の変更に際して再び日本国民諸賢に告ぐ! 民団東京本部非常対策委員会 一九五〇年七月二五日
- ・親愛なる皆様に申し上げます/親愛なる同胞諸位に告ぐ 民団荒川支部 一九五〇年七月二九日
- ・同胞諸賢に告ぐ 民団荒川支部 一九五〇年七月二五日
- ・韓国戦災民救援運動趣旨書 民団東京本部 一九五一年六月二〇日
- ・滅共強調旬間設定に際して 民団東京本部 一九五一年六月二一日
- ・枝川町に塾居している暴力主義者の正体は暴露されている 民団東京本部 一九五一年六月二四日
- ・韓国動乱一週年にあつて親愛なる同胞並に日本国民諸賢に告ぐ 民団札幌本部・北海道本部 一九五一年六月二五日
- ・停戦要請民衆大会開催に際し 民団東京本部 一九五一年七月八日
- ・枝川町事件後報 日本人の皆様へ!! 民団東京本部 一九五一年七月九日

- ・停戦会議に際して 民団東京本部 一九五一年七月九日
- ・第二回定期総会国際情勢報告 民団荒川支部 一九五二年八月三一日
- ・民団襲撃事件真相発表 民団八幡市熊手町三丁目被撃事件 一九五二年九月二六日
- ・(民団台東本部団長 Son An So 英文メッセージ)
- ・(第二回全国本部団長会議メモ)
- ・在日大韓青年団
- ・役員選出通知に関する件 崔洛函(大韓青年団京都府本部団長) 一九五〇年五月一日
- ・韓青結成大会経過通知の件 李根(大韓青年団埼玉本部団長) 一九五〇年五月二九日
- ・第八回本部大会を終えて(附・朝鮮建国促進青年同盟兵庫県本部執行委員名簿) 金漢述(朝鮮建国促進青年同盟兵庫県本部執行委員長) 一九五〇年六月二〇日
- ・大韓青年団結成大会に関する件 河一清(文教局青年部長) 一九五〇年八月二五日
- ・大韓青年団結成に関する通牒 在日大韓青年団本部結成準備委員会 一九五〇年八月二五日
- ・在日大韓青年団本部結成大会式順 一九五〇年八月二八・二九日
- ・宣言/綱領 在日大韓青年団
- ・大韓青年団結成に際して 民団中央総本部 一九五〇年八月二八日
- ・声明書 洪賢基(在日大韓青年団準備委員長) 一九五〇年八月二八日
- ・在日大韓青年団本部役員一覧
- ・(建青大会代議員出席者名簿)
- ・入団申請書
- ・一民の歌/愛国歌
- ・団憲(草案)/団憲(規約) 在日大韓青年団
- ・団憲 大韓青年団

- ・挨拶状 在日大韓青年団本部 一九五〇年九月五日
- ・挨拶の辞 一九五〇年九月七日
- ・団部団長所属具体化に関する件 寧柱(大韓青年団団長)
- ・韓青結成報告の細胞組織に関する要請 康順弼(在日大韓青年団組織部長)
- ・対外及国内事件報告書提出に関する件 趙鐘・(大韓青年団本部監察部長) 一九五〇年九月一八日
- ・檄!! 大韓青年青年団石果本部 一九五〇年九月二〇日
- ・評議員委嘱の件
- ・寧柱(大韓青年団本部団長) 一九五〇年九月二七日
- ・韓青神奈川県部発表に関する件 黄昌周(在日大韓青年団神奈川県部団長) 一九五〇年一月五日
- ・本國戦災同胞救済、傷病軍人輸血、慰問、運動、推進に関する件 康順弼(韓青本部組織部長) 一九五〇年一月一日
- ・声明書 大韓青年団本部 一九五一年一月二二日
- ・檄!! 在日大韓青年団本部 一九五一年六月二五日
- ・第一回全体大会常任部報告書 在日大韓青年団本部 一九五二年一月二日
- ・同志青年諸兄に告ぐ 大韓青年団連絡事務所 同志クラブ・レフト・ブリッチ 八月五日
- ・在日大韓青年団中央訓練所要領
- ・大韓青年団第二期訓練生芳名録/訓練規範/受講課目及講師
- ・在日本韓国学生同盟
- ・定期総会を迎へて会員諸兄に訴ふ! 在日朝鮮学生同盟関東本部委員会 一九四八年五月二三日
- ・学同定期総会共産分子暴徒に襲撃され解散せり 在日朝鮮学生同盟関東本部 一九四八年五月三〇日
- ・学生獅子吼八・一五記念救国演説大会原稿集 朝鮮学生同盟中央総本部 一九四八年九月三〇日
- ・学生紛争事件並に故李相錫君殺害事件に関して 在日朝鮮

- ・学生同盟中央総本部・関東本部 一九五〇年五月二二日
- ・五、二一東京学生事件の真相! 李相錫君致死の顛末 在日朝鮮学生同盟中央総本部・関東本部 一九五〇年五月二二日
- ・愛国闘士故李相錫君の小伝 在日朝鮮学生同盟関東本部 一九五〇年五月二二日
- ・日本共産党朝鮮学生細胞凶暴な野獣的殺人行為 団中央総本部・在日朝鮮学生同盟中央総本部・在日朝鮮学生同盟関東本部 一九五〇年五月二八日
- ・在日朝鮮青年学生に対する声明書 全日本学生自治会総連合会・留日中国学生同学生会・在日朝鮮学生同盟 一九五〇年六月
- ・規約 学同関東本部 一九五〇年九月四日
- ・一九五〇年度規約 学同関東本部
- ・(各大学同窓会有志会開催通知) 李現坤(学同関東本部代表委員) 一九五〇年一月二二日
- ・三、一独立運動記念大会/三、一先烈に報告する途/三、一記念大会概要メモ 一九五一年三月一日
- ・檄!! 学同関東本部 一九五一年五月一七日
- ・計画的な暴力、殺人、脅迫を強行する暴力団朝鮮学生同盟を即時解体せよ 学同関東本部 一九五一年五月二〇日
- ・愛国闘士故李相錫同志一週忌を迎えて 学同関東本部 一九五一年五月二二日
- ・愛国闘士故李相錫同志一週忌追悼祭(一九五一年五月二二日) 式次第
- ・第八回定期総会提出議案及一般活動報告書 学同関東本部 一九五一年五月二六日
- ・今後活動理念及方針 学同関東本部 一九五一年五月二六日
- ・檄! 学同中央総本部 一九五一年六月二五日
- ・[第六回学同総会メモ]
- ・建物接収に関する意見書/学生同盟建物帰属及使用権問題

- ・調査書
- ・在日韓国学生同盟後援会規約草案
- ・韓国育英会(草案) 一九五一年四月
- ・我々の要求!! 在日韓国留学生一同 一九五一年二月一日
- ・代議員諸先輩に 在日韓国学生は呼ぶ 在日韓国留学生一同 一九五一年四月三日
- ・統一同窓会を妨害する孟東鎬一派を追放せよ 明治大学韓国留学生同窓会
- ・召集状 在日韓国学徒義勇軍本部 一九五〇年九月一日
- ・傘下団体
- ・(在日大韓民国婦人会)
- ・在日大韓民国婦人会中央総本部結成準備委員会第一回会議録 一九五一年四月五日
- ・綱領/大韓民国婦人会活動目標
- ・大韓民国婦人会中央総本部結成準備委員会経過報告書
- ・大韓民国婦人会中央総本部趣意書
- ・在日大韓民国婦人会規約(改正草案、日本語/朝鮮語)
- ・在日大韓民国婦人会地方本部規約(修正案) 大韓民国婦人会中央総本部 一九五一年六月
- ・第一回定期総会報告書 在日大韓民国婦人会中央総本部 一九五二年六月二五日
- ・(在日韓僑在郷軍人会)
- ・第一回全国大会報告書 在日韓僑在郷軍人会 一九五二年一月一日
- ・(在日韓国教育者同盟)
- ・在日韓国教育者同盟規約(修正済)/宣言(一九五〇年一月一日)/綱領
- ・駐日代表部・韓国政府関連
- ・大韓民国駐日代表部事務分掌規程
- ・建議書 洪賢基(民団副委員長建青委員長) 外務長官宛 一九五〇年二月一三日

・請願書(附:在日同胞指導に関する件、糾合案、貢献基(在日韓国青年同盟次長・金潤根(大韓青年団総本部副団長)申性模(国防部長官兼大韓青年団長)宛 一九五〇年四月五日)
・(大韓民国駐日代表部諮問委員会関連書類)
・海外同胞に送るメッセージ 李承晩 一九五〇年二月二十五日
・公使の無能とその過誤失策の真相(一九五一年)
・金龍周本國更迭に際して李承晩に提出した陳情書 一九五一年三月三〇日
・本國政府に要請建議書 民団中央総本部 一九五二年九月
・(代表部公文関係書類)
・第一回全体協議会 南北統一促進協議会 一九五五年六月二十四日

第4巻 『在日朝鮮統一民主戦線関係』

在日朝鮮統一民主戦線
・在日朝鮮統一民主戦線結成に關して全同胞に訴え提議する
在日朝鮮統一民主戦線中央準備委員会 一九五〇年七月二〇日
・在日悪質売族徒の経歴とその罪悪 在日朝鮮統一民主戦線中央準備委員会
・反動陣營の最近の動向 一九五〇年八月二〇日
・綱領草案・行動綱領草案・規約
・一九五四年規約(草案) 在日朝鮮統一民主戦線 一九五四年二月五日
・第一次中央委員会報告書(一九五三年) 八月二五―二六日
・在日朝鮮統一民主戦線
・第一次中央委員会報告書(一九五四年二月二〇―二二日)
在日朝鮮統一民主戦線
・第一四回中央委員会報告書(一九五四年二月二〇―二二日)
在日朝鮮統一民主戦線
・第一五回中央委員会報告書(一九五四年五月一―五日) 在日朝鮮統一民主戦線
・第一六回中央委員会報告書(草案)(一九五四年九月二七―二十九日) 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会
・民戦第六次臨時大会報告書(一九五五年五月二四―二六日) 在日朝鮮統一民主戦線中央委員会

朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年二月二二日
・四・二四教育闘争六周年記念をむかえ、民主民族教育の防衛のために全ての愛国同胞は総決起しよう 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年四月一日
・民族教育の重大な危機に際し、全ての同胞に送る呼びかけ文 在日朝鮮統一民主戦線中央委員会 一九五四年四月八日
・東京都教育庁当局の朝鮮人学校不当処置に対する声明 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年四月二〇日
・声明書―教育闘争における日本国民の友情に込めて―在日朝鮮統一民主戦線中央委員会 一九五四年四月一〇日
・再び朝鮮人子弟教育の危機を訴えます―教育闘争における日本国民と諸団体の友情と激励に込めて―朝鮮人教育防衛東京闘争委員会 一九五四年四月一八日
・日本人教職員の皆様へ 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年四月一日
・祖國派遣使節団李浩然議長出國禁止に対する声明 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年五月一日
・声明書 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年五月二〇日
・声明書 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年五月二五日
・申入書 在日朝鮮統一民主戦線中央委員会 一九五四年五月二五日
在日朝鮮統一民主戦線中央委員会 一九五四年五月二五日
・宣言(草案)(一九五三年度) 在日朝鮮統一民主戦線中央総本部 一九五三年一〇月二二日
・一般情勢と活動報告および今後の方針宣言、綱領、規約(草案)(一九五三年一〇月二二―二三日) 在日朝鮮統一民主戦線中央総本部
・五全大会決定書(一九五三年十月) 在日朝鮮統一民主戦線中央総本部
・現情勢と当面の任務 第十四回拡大中央委員会・議案(一九五四年四月七―八日) 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会
・通達 第十一回拡大中央委員会開催に關して在日朝鮮民主

・われわれの任務と当面の運動方針(一九五一年四月) 在日朝鮮統一民主戦線東京委員会
・在日朝鮮統一民主戦線東京大会一般情勢及活動方針(一九五二年二月) 東京常任委員会
・活動報告
・在日朝鮮人の生活実態 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会社会経済部編 一九五三年七月一日
・通達
・教育月間の総決事業と四・二四記念大会に關して 民戦中央文教科 一九五三年四月一〇日
・総選挙闘争を勝利させ日韓会谈の陰謀を徹底的に粉碎しよう、民戦中央書記局 一九五三年四月一〇日
・四全大会方針実践のための当面の闘争でのいくつかの指示 民戦中央常任委員会 一九五三年一月三〇日
・年末闘争を契機に商工業者組織と当面の要求闘争を強化しよう 民戦中央常任委員会 一九五三年二月七日
・敵の年末大弾圧計画を暴露粉砕し、我々の隊列を整備強化しよう 民戦中央書記長 一九五三年二月七日
・年末年始をむかえて 民戦中央書記長 一九五三年二月十九日
・日本赤十字の書簡問題について 民戦中央書記長 一九五四年一月二五日
・軍事予算に反対し社会保障予算を勝ち取るために総決起しよう 民戦中央組織部 一九五四年一月十九日
・李康勲の背後にいる米・日・韓反動の謀略をひとつ残らず摘発し、さらに警戒心を高め、敵に対する容赦ない闘争を継続しよう 民戦中央書記長 一九五四年一月二十九日
・財政活動に關する報告書提出要請 民戦中央財政部長 一九五四年一月二十九日
・平和運動を發展させるために『平和新聞』を広く活用しよう 民戦中央書記局 一九五四年二月二二日
・映画運動と防衛に關して 民戦中央文化宣伝部 一九五四年三月二日
・ジュネーヴ平和会議を成功させる闘争に全ての力量を動員しよう 民戦中央常任委員会 一九五四年三月三日
・民主民族教育の防衛のために在日朝鮮人教育防衛中央闘争委員会 一九五四年三月二二日

女性同盟常任委員会 一九五四年三月八日
・第十四回拡大中央委員会決定書(一九五四年五月七日) 在日朝鮮統一民主戦線中央委員会
・第七次全体臨時大会一般方針(草案)(一九五五年八月) 在日朝鮮統一民主戦線中央委員会
・声明書ほか
・全世界の平和愛好人民に訴う 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年九月二九日
・世界婦人大会に送る報告書 在日朝鮮統一民主戦線中央総本部委員長 一九五三年五月二〇日
・声明書―李康勲除名追放について―在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会
・メッセージ 在日朝鮮統一民主戦線中央総本部 一九五四年一月二二日
・国際婦人デーの大会に集つて來られた日本婦人の皆さんに訴えます 在日朝鮮統一民主戦線 一九五四年三月八日
在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会
・在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会
・民愛青年中央結成大会々議録(一九五二年一〇月一八日)
・文化工作隊総括
・第七回拡大中央一般報告・方針(草案)(一九五四年四月二―三日) 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会
・第七回拡大中央委員会決定書(一九五四年五月五日) 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会
・朝鮮人民軍創建六週年記念日を迎えて 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年一月二五日
・政治会議成功と民主民族権利を守るために 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年一月二八日
・反植民地闘争デー記念闘争に關して 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年二月九日
・青年大衆の具体的要求を日本青年との統一行動へ發展させて当面国会闘争を組織しよう 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会
・朝鮮人民軍創建六週年記念日を迎えて 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年二月九日
・祖國戦後人民経済復旧運動総括報告に關して 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年二月二一日
・中央委員第三次学習会招集に關して 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年三月二二日

・四・二四教育闘争記念をむかえての闘争について 民戦中央常任委員会 一九五四年三月二二日
・五・二節メーデーをむかえての闘争に対する指示 民戦中央常任委員会 一九五四年三月二三日
・第十四回中央委員会決定書漫遊事業推進に關して 民戦中央常任委員会 一九五四年三月一七日
・教育賞受賞団体候補および個人候補選挙結果報告に關して 民戦中央教育部 一九五四年三月二〇日
・祖國映画上映をもつと広範に組織しよう 民戦中央文化宣伝部 一九五四年三月二二日
・四・二四記念闘争に対する指示 民戦中央常任委員会 一九五四年四月一三日
・第十五回緊急中央委員会召集について 民戦中央常任委員会 一九五四年五月五日
・保全・日殖・勸業公社の破産問題に關して 民戦中央常任委員会 一九五四年五月五日
・声明書ほか
・全朝鮮人子弟の教育権獲得に対する声明 在日朝鮮統一民主戦線中央委員会書 一九五三年一月二二日
・総選挙に対するお願い 在日朝鮮統一民主戦線中央委員会 一九五三年四月一日
・声明書―日韓会谈粉砕のために―在日朝鮮統一民主戦線中央委員会 一九五三年四月一〇日
・声明書―韓日会谈再開に際して―在日朝鮮統一民主戦線中央委員会 一九五三年四月一〇日
・在日朝鮮人の人権擁護に關して 在日朝鮮統一民主戦線中央委員会 一九五三年二月一四日
・朝鮮戦争捕虜解放の陰謀に対する声明書 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年一月一〇日
・李康勲を除名追放する民戦中央常任委員会の決定 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年一月一六日
・請願書 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年二月一〇日
・声明書―朝鮮に在留する日本人の帰國問題について―在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年三月五日

年同盟中央総本部文教科長 一九五四年三月五日
・ジュネーヴ平和会議を成功させるために 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年三月五日
・第七回拡大中央委員会開催に關して 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年三月五日
・平和と教育と生活を守るために、四・二四闘争を成功させよう 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年四月一五日
・五・二節メーデーを日朝青年たちの統一と団結の示威で迎えよう 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年四月一五日
・メーデーの歴史的意义について 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年四月一七日
・信任状様式に關して 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年五月二八日
・報告事業の徹底化のために 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年五月二九日
・声明書ほか
・申し入れ 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 東京本部 一九五四年四月一七日
・民族教育・生活・平和を守るために四・二四中央大会に参加しよう 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 東京本部 一九五四年四月一七日
・招請状 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年五月二五日
在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会
・朝鮮解放救済会第二全国大会々議録(一九四九年二月一四日) 朝鮮解放救済会中央本部
・朝鮮統一民主戦線第三次全体大会 活動報告及建議案(一九五二年二月一八日) 朝鮮解放救済会
・現情勢と当面の任務 第十九回拡大中央委員会決定書(一九五四年三月一六―一七日) 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会
・通達
・中央委員学習計画に關して 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年一月一五日
・第十九回拡大中央委員会召集の件 在日朝鮮統一民主戦線中央常任委員会 一九五四年三月二二日

中央本部常任委員会 一九四四年二月一六日
三月十八日の解放戦士合同葬を成功裏に遂行するために在日朝鮮解放救援会中央本部常任委員会 一九四四年二月一六日

・日帝の侵略戦争当時犠牲となった数方の同胞たちの遺骨を捜す広範な運動を組織し、反ファシヨ人権擁護運動を強化するために 在日朝鮮解放救援会中央本部常任委員会 一九四四年二月一八日
・遺骨安置と奉旨する運動を進展させるために 在日朝鮮解放救援会中央本部 一九四四年五月二八日

刊行物
・『暴力の正体 朝鮮解放救援会宣言部
・機関紙「救済情報」 一九五三年一月一日、一九五三年五月一日、一九五四年二月二〇日、一九五五年一月二〇日
・日韓つなく強制送還の陰謀 朝鮮解放救援会 一九五二年五月六日

・声明書 朝鮮解放救援会 一九五二年七月七日
・呼訴文「強制追放・強制隔離陰謀を粉砕し、大村収容所の同胞を救出しよう」 朝鮮解放救援会 一九五二年二月一日
・声明書「朝鮮戦争の朝・中捕虜強制釈放陰謀に対して」 在日本朝鮮解放救援会中央本部常任委員会 一九五四年一月二二日

・声明書「李康勲の反民族的行為に対して」 在日朝鮮解放救援会中央本部常任委員会 一九五四年一月一六日
・声明書「李康勲の反民族的行為に対して」 在日朝鮮解放救援会中央本部常任委員会 一九五四年一月一六日
・声明書 在日朝鮮解放救援会中央本部 一九五四年五月二七日

在日朝鮮科学技術協会
・在日朝鮮人の生活実態 在日朝鮮科学技術協会 一九五一年一月一
・在日朝鮮文化年鑑 一九四九年版朝鮮文芸社 一九四九年四月一九四七年七月

第5巻 『在日朝鮮人職業名鑑・文化年鑑』
・在日朝鮮人各種事業名簿簿録 在日本朝鮮人連盟大阪本部 一九四七年七月
・在日朝鮮文化年鑑 一九四九年版朝鮮文芸社 一九四九年四月一九四七年七月

・闘争経過報告書 東京朝鮮学園教職員組合（一九四九・一・二二〇）（五五・六・三〇）
・資料「朝鮮人学校の栄——本校を中心として」 都立朝鮮人学校教職員組合第四支部・都立第四朝鮮人小学校PTA（一九四四・一一・一〇）
・学校の実態と沿革史 都立第一朝鮮人小学校PTA（一九四四・一一・一〇）
・学校の実態と沿革史 東京都立第三朝鮮人小学校PTA（一九四四・一一・一〇）
・学校の発展と沿革史 東京都立第三朝鮮人小学校PTA（一九四四・一一・一〇）

B・教研大会等における報告
・在日朝鮮人教育の現状に関する報告 世界教員会議在日朝鮮人代表（一九五三・七）
・平和教育の一環としての在日朝鮮人教育の実態とその在り方 東京都立朝鮮人中学校 梶井陟
・平和教育の一環としての在日朝鮮人教育の実態とその在り方 東京都立朝鮮人中学校 梶井陟

・第三回全国教育研究大会第六分科発表要項 朝鮮人学校に於ける歴史教育 東京都教職員組合連合 朴慶極
・第四次教育研究全国大会第一部会第二分科報告書 作文指導からみた国際理解を深める教育について 東京都教職員組合連合 牛沢長夫
・第四次教研大会第三分科会資料 朝教組（一九五四・一一）
・朝鮮人学校及び日本人学校に於ける朝鮮人児童の成長過程 東京都立朝鮮人学校教職員組合 金護経（一九五四・一一）
C・パンフレット類
・朝鮮人学校弾圧事件の真相を訴う 東京都立朝鮮人学校PTA連合会（一九五二・三・一六）
・朝教組一週年記念号 東京都朝鮮人学校教職員組合委員会（一九五二・五・一）
・教育の自由を守るために——在日朝鮮人青少年教育問題について 在日本朝鮮人学校PTA全国連合会・東京都立朝鮮人学校教職員組合（一九五二・六）
・都立朝鮮人学校の現状とその解決策 都立朝鮮人学校PTA連合会（一九五四・五）
・父兄の実態調査 研究資料 朝教組
・教育資料第一集 平和と民主民族教育を守るために——東京都立朝鮮人学校校庭に反対する 在日朝鮮統一民主戦線

一九四六年 解放年誌 解放新聞社 一九四六年一〇月
・朝鮮建国の経済的基盤 革命の現段階と方向展望 朝鮮文化部
・全国農民組合総連盟結成大会 会議録朝鮮中央本部文化部 一九四六年二月
・全国農民組合総連盟結成大会記録附録（規約、行動綱領、運動方針） 朝鮮中央本部文化部 一九四六年二月
・一九五四年度 一九五三年度活動報告書 一九五四年度活動方針書 東京朝鮮人商工会 一九五四年

第6巻 『教科書 教育関係雑誌』
・『朝鮮歴史』上巻 朝鮮文化部編 朝鮮文化部発行 一九四五年一〇・三〇
・『朝鮮歴史』中巻 朝鮮文化部編 朝鮮文化部発行 一九四六年一・一五
・『朝鮮歴史』下巻 初等教材編纂委員会編 朝鮮中央本部発行 一九四七年一・一五
・『朝鮮歴史』元容徳編著 文化朝鮮社発行 一九四七年一・二〇
・『朝鮮歴史』文錫俊遺稿 朝鮮文教局発行 一九四七年一・二二
・『朝鮮歴史』一 朝鮮建国推進青年同盟文化部発行
・『朝鮮歴史』二巻 朝鮮建国推進青年同盟文化部発行
・『初等朝鮮地理』全 初等教材編纂委員会編 朝鮮文化部発行 一九四六年一・一五
・『朝鮮綴字法統一案』全 朝鮮文化協会発行 一九四六年一・一五
・『改訂 朝鮮綴字法統一案』新版 朝鮮語学会 朝鮮文教局発行 一九四八年一・一〇
・『査定した朝鮮語標準マル母音』朝鮮語学会 朝鮮文教局発行 一九四七年一・一〇
・『人民ハンダール教本』李珍珪 中央出版社発行 一九五〇・三・二五
・『中等国語』三 東京朝鮮中学校発行
・『中等国語教本』一 中央出版社編輯部 中央出版社発行 一九五〇・六・二二

中央教育委員会編
・民族の子——朝鮮人学校問題 東京都立朝鮮学校教職員組合情報宣伝部（一九五四・一一・三〇）
D・児童生徒の作文集・文芸活動など
・『作文集』第一朝鮮人小学校
・『作文集』第二号 東京都立第二朝鮮人小学校
・『児童作品集 風の子』① 東京都立第三朝鮮人小学校
・『なかよし』1 東京都立第五朝鮮人小学校作文部（一九五四・一一・三〇）
・『学生旗』 東京朝鮮高等学校友会文芸部（一九四九年一・二）①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
・『樹林』創刊号 都立朝鮮人高等学校同人誌（一九五〇・一〇・二〇）
・『嵐は若木を襲う』 都立朝鮮人高等学校自治会（一九五四年一〇・一七）
E・定期刊行物
・『朝教組ニュース』「教研大会特集号」（一九五三・二・一一）再刊の第一号（五三・九・一九）第九号（五五・一・二九）
第8巻 『朝鮮人刊行新聞・雑誌』(1)
○新聞
・『朝鮮速報』(在日本朝鮮人連盟中央本部 第五号（一九四六年一〇月三日）)
・『朝鮮人生活権擁護委員会ニュース』(朝鮮人生活権擁護委員会 第二号（一九四六年二月二日）、第四号（一九四六年二月一六日）、第六号（一九四六年二月三二日）、第九号（一九四七年一月二六日）、第一二二合併号（一九四七年二月二〇日）、第二三三号（一九四七年三月一日）、第三号（一九四七年六月五日）)
・『朝鮮中央時報』(在日本朝鮮人連盟中央本部宣伝部朝鮮中央時報編集局 第三七号（一九四八年五月二八日）、第三八号（一九四八年六月四日）、第四三三号（一九四八年七月九日）号外（一九四九年五月二四日）)
・『東京朝連ニュース』(在日本朝鮮人連盟東京本部書記局 第一四号（一九四八年六月一〇日）)
・『民青時報』(在日本朝鮮民主青年同盟総本部 第一号（一九四七年七月五日）、第二号（一九四七年七月一五日）、第三号（一九四七年七月二五日）、第四号（一九四七年七月三十五日）、第五号（一九四七年八月四日）、第六号（一九四七年八月十四日）、第七号（一九四七年八月二十四日）、第八号（一九四七年八月三十一日）、第九号（一九四七年九月六日）、第十号（一九四七年九月十六日）、第十一号（一九四七年九月二十六日）、第十二号（一九四七年十月六日）、第十三号（一九四七年十月十六日）、第十四号（一九四七年十月二十六日）、第十五号（一九四七年十一月五日）、第十六号（一九四七年十一月十五日）、第十七号（一九四七年十一月二十五日）、第十八号（一九四七年十二月五日）、第十九号（一九四七年十二月十五日）、第二十号（一九四七年十二月二十五日）)

・『言語学の問題に関するスターリンの著作に照らしてみた朝鮮語の基本語彙と語彙構成について』キム・スキョン 一九五〇・六・二二
・童謡第一集『ピドウルギ』 初等教材編纂委員会 朝鮮中央本部発行 一九四六年一・一五
・『朝鮮中学校 音楽教本』 東京都立朝鮮人高等学校音楽教育研究会 一九五二・一一・一一
・『少年少女 生活教室』第4、5、6学年共用 初等教材編纂委員会 朝鮮文教局発行 一九四七・一二・二五
・『私たちの学校生活』 白頭学院発行
・『各級学校規定』 在日本朝鮮人連盟発行 一九四八年

第7巻 『都立朝鮮人学校関係』
A::年次別報告書類
・(学校 PTA、教育者同盟、朝教組など)
・一九五一年度 学校報告書 東京朝鮮高等学校・中学校（一九五二・四・三〇現在）
・一九五二年度 学校報告書 東京朝鮮高等学校・中学校（一九五三・四・三〇現在）
・第四次定期総会議案 一九五三年度運動方針 東京都立朝鮮人学校教職員組合
・第四次定期大会報告書 東京朝鮮人学校PTA連合会（一九五三・六・七）
・第七回大会報告書 教育者同盟東京支部（一九五三・六・二二）
・高等学校自治会常任委員会の第二学期活動報告書（活動期間一九五三・九・一〜一九五三・一一・二〇）
・春季斗争方針（案） 都立朝鮮人学校教職員組合（一九五四・一）
・一九五三年度学校報告書 東京都立朝鮮人高等学校・中学校PTA（一九五四・六・一現在）
・第八回全体大会活動方針書（案） 在日朝鮮人教育者同盟東京支部（一九五四・六・二二）
・第五回定期総会 一九五四年度運動方針（案） 東京都立朝鮮人学校教職員組合
・第五回臨時総会 斗争経過報告書 東京都立朝鮮人学校教職員組合（一九五四・九・三〇）（五五・三）

一九四七年七月五日、第二号（一九四七年七月一五日）、第三号（一九四七年七月二五日）、第七号（一九四七年九月五日）、第三三号（一九四八年八月二五日）、第三五号（一九四八年九月一五日）、第三八号（一九四八年一〇月二三日）、第三九号（一九四八年一〇月二三日）、第四〇号（一九四八年一〇月二三日）、第四一號（一九四八年一〇月二三日）、第四二號（一九四八年一〇月二三日）、第四三號（一九四八年一〇月二三日）、第四四號（一九四八年一〇月二三日）、第四五號（一九四八年一〇月二三日）、第四六號（一九四八年一〇月二三日）、第四七號（一九四八年一〇月二三日）、第四八號（一九四八年一〇月二三日）、第四九號（一九四八年一〇月二三日）、第五〇號（一九四八年一〇月二三日）、第五一號（一九四八年一〇月二三日）、第五二號（一九四八年一〇月二三日）、第五三號（一九四八年一〇月二三日）、第五四號（一九四八年一〇月二三日）、第五五號（一九四八年一〇月二三日）、第五六號（一九四八年一〇月二三日）、第五七號（一九四八年一〇月二三日）、第五八號（一九四八年一〇月二三日）、第五九號（一九四八年一〇月二三日）、第六〇號（一九四八年一〇月二三日）、第六一號（一九四八年一〇月二三日）、第六二號（一九四八年一〇月二三日）、第六三號（一九四八年一〇月二三日）、第六四號（一九四八年一〇月二三日）、第六五號（一九四八年一〇月二三日）、第六六號（一九四八年一〇月二三日）、第六七號（一九四八年一〇月二三日）、第六八號（一九四八年一〇月二三日）、第六九號（一九四八年一〇月二三日）、第七〇號（一九四八年一〇月二三日）、第七一號（一九四八年一〇月二三日）、第七二號（一九四八年一〇月二三日）、第七三號（一九四八年一〇月二三日）、第七四號（一九四八年一〇月二三日）、第七五號（一九四八年一〇月二三日）、第七六號（一九四八年一〇月二三日）、第七七號（一九四八年一〇月二三日）、第七八號（一九四八年一〇月二三日）、第七九號（一九四八年一〇月二三日）、第八〇號（一九四八年一〇月二三日）、第八一號（一九四八年一〇月二三日）、第八二號（一九四八年一〇月二三日）、第八三號（一九四八年一〇月二三日）、第八四號（一九四八年一〇月二三日）、第八五號（一九四八年一〇月二三日）、第八六號（一九四八年一〇月二三日）、第八七號（一九四八年一〇月二三日）、第八八號（一九四八年一〇月二三日）、第八九號（一九四八年一〇月二三日）、第九〇號（一九四八年一〇月二三日）、第九一號（一九四八年一〇月二三日）、第九二號（一九四八年一〇月二三日）、第九三號（一九四八年一〇月二三日）、第九四號（一九四八年一〇月二三日）、第九五號（一九四八年一〇月二三日）、第九六號（一九四八年一〇月二三日）、第九七號（一九四八年一〇月二三日）、第九八號（一九四八年一〇月二三日）、第九九號（一九四八年一〇月二三日）、第百号（一九四八年一〇月二三日）

・『統一戦線』（民戦中央常任委員会）復刊第二号（一九五五年四月二日）、第三号（一九五五年四月九日）
・『東京民報』（在日朝鮮統一民主戦線東京委員会 No.10（一九五三年新年号））
・『祖国防衛ニュース』（祖国防衛委員会 No.19（一九五一年二月五日））
・『朝鮮の光』（在日朝鮮祖国防衛三多摩委員会 No.1（一九五二年九月一五日））
・『祖国防衛ニュース』No.11（一九五〇年九月）
・『朝鮮の星』No.2（一九五一年四月一日）
・『中央通信』（祖国防衛全国委員会 No.40（一九五一年六月四日）、No.41（一九五一年六月七日））
・『民族教育』（朝鮮人学校PTA全国連合会・朝鮮人教育者同盟本部 第二号（一九五三年六月一日）、第三号（一九五三年八月一日））
・『民族教育』（在日朝鮮人学校PTA全国連合会 第四号（一九五四年一月二五日）、第四号（一九五四年九月一〇日））
・『学同ニュース』（在日朝鮮学生同盟関東本部 第四号（一九四九年一月二〇日）、第五号（一九四九年三月五日））
・『学同関東時報』（在日朝鮮学生同盟関東本部 No.7（一九四九年六月一日））

・『言語学の問題に関するスターリンの著作に照らしてみた朝鮮語の基本語彙と語彙構成について』キム・スキョン 一九五〇・六・二二
・童謡第一集『ピドウルギ』 初等教材編纂委員会 朝鮮中央本部発行 一九四六年一・一五
・『朝鮮中学校 音楽教本』 東京都立朝鮮人高等学校音楽教育研究会 一九五二・一一・一一
・『少年少女 生活教室』第4、5、6学年共用 初等教材編纂委員会 朝鮮文教局発行 一九四七・一二・二五
・『私たちの学校生活』 白頭学院発行
・『各級学校規定』 在日本朝鮮人連盟発行 一九四八年

・『言語学の問題に関するスターリンの著作に照らしてみた朝鮮語の基本語彙と語彙構成について』キム・スキョン 一九五〇・六・二二
・童謡第一集『ピドウルギ』 初等教材編纂委員会 朝鮮中央本部発行 一九四六年一・一五
・『朝鮮中学校 音楽教本』 東京都立朝鮮人高等学校音楽教育研究会 一九五二・一一・一一
・『少年少女 生活教室』第4、5、6学年共用 初等教材編纂委員会 朝鮮文教局発行 一九四七・一二・二五
・『私たちの学校生活』 白頭学院発行
・『各級学校規定』 在日本朝鮮人連盟発行 一九四八年

- ・『韓国学生新聞』（在日本韓国学生同盟関東本部）No.1（一九五一年六月二五日）、No.2（一九五一年六月二五日）No.3（一九五一年七月一〇日）
- ・『朝鮮学生新聞』（在日朝鮮学生同盟機関紙編集委員会）復刊第五号（通刊三十四号、一九五三年二月二〇日）
- ・『文化工作』（朝鮮学生同盟関東本部文化工作隊）第一号（一九五三年三月二〇日）、第五号（一九五三年五月二〇日）
- ・『ごどもの星』（在日朝鮮民主少年団愛知県本部）第七号（一九五四年五月四日）
- ・『文総月報』（在日本朝鮮民主化団体総連盟）第一号（一九四八年五月一〇日）
- ・『文化戦線』第三号（一九五四年五月一日）
- ・『朝鮮統一民主同志会報』（朝鮮統一民主同志会）第一号（一九五四年二月五日）
- 各種資料
 - ・『声聞書』文化教育会を牛耳る崔鮮の罪悪を暴く！（金哲洙・鄭義植、一九四九年三月）
 - ・『声聞書』三月三十日付私への暴露性文書に答えて（崔鮮、一九四九年四月一〇日）
 - ・『一九五三年三月六日機関紙活動統計』（一九五三年七月八日）
 - ・『朝鮮強化』三百万カンバをより積極的に闘おう！（祖国防衛関東地方委員会）
 - ・『朝鮮強化』強化のための三百万カンバ地区総結団検閲週間に際して（祖国防衛江東地区委員会、一九五三年七月二七日）
 - ・『全体支分局社員同志たち』（解放新聞社社長李心結、一九五四年五月六日）
 - ・『神戸事件の真相』（民主団体調査団、一九五〇年）一二月二七日）
 - ・在日朝鮮文化団体連台宣言・綱領・規約・役員名簿・加入書（一九四七年）
 - ・在日朝鮮民主文化団体連盟加入団体一覽表（一九四七年一〇月一日現在）
 - ・『文化反動との対決は文化戦線の統』と拡大を要求する――文団連 結成に關して（在日朝鮮文化団体総連盟文団連 中央準備委員会）
 - ・在日朝鮮文化団体連盟結成記念芸術祭プログラム（一九五四年五月一七日開催）
 - ・『解放詩選集』（李珍珠編、在日本朝鮮人連盟中央総本部、一九四六年一〇月）
 - ・『文学会組織強化に關して』（在日朝鮮文学会書記局組織部、三月二七日）
 - ・『グランドオペラ 春香』（歌劇「春香」上演後援会、一九四八年一月）
 - ・『隨筆 春香伝（附 オペラ台本）』（曹龍連、一九四八年一月）
 - ・『革命歌謡集』（朝連東本文教部、一九四八年八月）
 - ・『われらの歌謡集』二（朝鮮人作曲家同盟中央委員会著、在日本朝鮮人教育者同盟文化教育部編輯 学友書房、一九五四年七月）
 - ・『朝鮮映画「郷土を守る人々」パンフレット』（在日朝鮮映画人集団）
 - ・『郷土を守る人々』ピラ
 - ・『郷土』上映運動の報告事業に關して（「郷土を守る人々」宣伝資料配付に關して）郷土 中央運営委員会、一九五三年一月三日）
 - ・『郷土』上映報告事業に關して（中央映画委員会、一九五四年三月九日）
 - ・記録映画『朝鮮の子』パンフレット（記録映画「朝鮮の子」制作委員会）
 - ・『朝連ニュース』第八号を出しながら（南浩栄）
 - 雑誌
 - 第9卷『朝鮮人刊行新聞・雑誌』②
 - ・『朝連文化』（在日本朝鮮人連盟中央総本部文化教育部 創刊号（一九四六年四月）、第二号（一九四六年一〇月）、第五号（一九四六年一月）
 - ・『平和』（在日本朝鮮人連盟兵庫本部文化教育部 第五号（一九四六年一月）
 - ・『青年公議』（在日本朝鮮民主青年同盟総本部文化教育部 創刊号（一九四八年九月））
 - ・『建国』（建国社、二月号（一九四六年二月）、第七号
 - ・『前進』第七号
 - ・『建国』（朝鮮青年同盟中央総本部）創刊号（一九四七年四月）、第一卷第一号（一九四七年八月）、第一卷第二号（一九四七年一〇月）
 - 第10卷『朝鮮人刊行新聞・雑誌』③
 - ・『新しい朝鮮』（新朝鮮社）創刊号（一九五四年一月）
 - ・『第八号（改題「新朝鮮」）一九五五年九月
 - ・『平和と教育』（在日朝鮮人学校PTA全国連合会）平和と教育社 創刊号（一九五二年八月））
 - ・第五号（一九五三年九月）
 - ・『高麗文芸』（高麗文芸社）創刊号（一九四五年一月））
 - ・第四号（一九四六年一月一日）
 - ・『朝鮮文芸』（朝鮮文芸社）七月号（一九四八年七月）
 - ・『白民』（白民社）三月号
 - ・『新芽』創刊号（一九五二年三月）
 - ・『群衆』第三号（一九五二年一月）、第五号（一九五二年一〇月）
 - ・『大同江』（大同江集団）第七号（一九五四年七月）
 - ・『朝鮮詩』（祖国文学社関東東本社 第一卷第二号（一九四六年三月））
 - ・『麦』（許南麒個人雑誌）1（一九五二年三月）
 - ・『チンダレ』（大阪朝鮮詩人集団 第二号（一九五五年七月）、第二〇号（一九五八年一〇月）
 - ・『チンダレ通信』（大阪朝鮮詩人集団「チンダレ」編集部）No.1（一九五四年三月）
 - ・『芸協』（朝鮮芸術協会）第一号（一九四六年八月）
 - ・『舞台』（牡丹峰劇場）3（一九五〇年八月）
 - ・『祖国解放戦争三周年記念 舞台』（朝鮮演劇研究所、一九五三年二月）
 - ・『朝鮮美術』（在日朝鮮美術会）No.2（一九五四年一月）、No.3（一九五四年三月）

●推薦の言葉

戦後日本人への問題提起

山田昭次・立教大学元教員

故朴慶植先生が収集し、編集を手がけておられた解放直後の在日朝鮮人運動史関係資料を収めた『在日朝鮮人関係資料集成 戦後編』全一〇巻が不二出版から刊行される。やはり解放後の在日朝鮮人運動史関係資料を収めた『朝鮮問題資料叢書』第九巻、第一〇巻および補巻（アジア問題研究所刊、三二書房発売、一九八三〜四年）に続くものである。

朴先生の研究は広い分野に及んだが、在日朝鮮人運動が民族の解放のみならず、日本における民主主義や人権の確立にも寄与したことを明らかにすることに最も情熱を傾けられた。しかも実証的な学風の先生は、「若い頃から飯代を削っても古本を集めてきた」という。今回刊行される資料集も、そうした辛苦を重ねた結果、集積された貴重な資料である。

朴先生は、日本に定住するに至った在日朝鮮人の現在の課題として、単一民族国家意識が強固で、民族差別・同化政策は依然として変わっていない日本が、他民族と共存・共生する民主主義的市民社会になるためにも、「われわれは民族的主体性を堅持していかなければならない」とことを晩年に指摘された（『在日朝鮮人・強制連行・民族問題―古希を記念して―』三一書房、一九九二年）。

日本で長年民族差別の辛酸をなめてこられた朴先生が、在日韓国・朝鮮人の若い世代に贈ったこの言葉は、日本人に対しては国民国家をどこまで相対化できるかという課題を提起したものと読みかえられる。この課題が戦後の日本と南北朝鮮をめぐるどのような歴史の曲折から生み出されたのか、これを明らかにするために戦後の在日朝鮮人史の研究が進められねばならないだろう。『在日朝鮮人関係資料集成 戦後編』全一〇巻が大いに活用されて欲しいゆえんである。それが朴先生の最も喜ばれることだろう。

●内容見本

― 學生紛争事件並に故李相錫君殺害事件に關して ―

吾等は正義、人道および真実の名に於て今五月二十一日法大に於ける韓國留學生紛争事件の経緯並に吾等の同志故李相錫君に対する天人共に許さざる非人間的共産テロリストの殴打殺害事件の真相を明らかにし、残酷極まる赤色テロの正体を天下に究ぐと共に吾々のとりべき態度を声明するものである。昨年五月八日明大に於ける学同第五回定期総会で既報（『声聞書』学同新聞）の如く、学同より追放又は除名された日本共産党朝鮮学生細胞の共産分子は其後陽に陰にあらゆる悪質なる手段を尽して再び学同の運営を策動し、或は学同の名称を濫用して日本共産党及同青年同盟に入党結託又はその指令に従つて、あらゆる運動に積極的に参加し、事毎に朝鮮学生同盟何々云々と言ひ振らして恰も学同は彼等の掌中にあるかの如き印も効なく、吾等……

……した次第である。而して此の度吾々は来る五月二十八日明大に於てつゝ万解の恨を飲んで帰らざるまで……あるが、彼等日共朝鮮学生細胞は之を採知する李相錫君よ！ 永遠に安らかなれ三千万民族の加護の……あるが、彼等日共朝鮮学生細胞は之を採知するあり、吾々は生命を賭して貴君の遺志に報いるであろう。異國に於て吾々……

……り之を好まず、寧ろそれを憎むものであるが、然し斯る野獸的非人道極まる赤色テロ徒輩に對して……民族および大類の名に於て更正破邪の聖剣を揮うであらうことを茲に固く誓うものである。人非人の共産テロ徒輩よ、やがて汝等の運命は風前の燈に脱鞍を奏する日の間近かに迫りつゝある事を銘記せよ。同志故李相錫君の遺志に答えて自由と平和と人類の爲に吾等の決意は固く吾等の覚悟は決せり。

斯く吾等は天人の名に於て厳肅に之を聲明するものである。

一九五〇年五月二十二日

在日朝鮮學生同盟中央總本部 在日朝鮮學生同盟關東本部

東京朝聯ニュース 1948年6月10日発行 第14號

6.10週間
當面の緊急なる
活動方針

統一政府樹立促進大運動會入場式

手紙の人民スボット
大運動會後記

在日同胞に聲援す
金日成大學生副部長談

刊行の経過について

樋口雄一 ●在日朝鮮人運動史研究会

朴慶植先生が亡くなられてからすでに二年にもなる。生前の先生は研究意欲も衰えることなく、資料館の建設、在日朝鮮人人名辞典の再編集、戦後在日朝鮮人運動資料集の刊行等の仕事を進めておられた。本書はこの戦後在日朝鮮人運動資料集に当たる。先生は準備作業として資料をほぼ本巻の構成と同様に取りまとめられ、一部の巻は目次案も付されていた。ご自宅の書庫のようになっていた部屋の、いつも先生が座っていた直ぐ後ろ側にまとめて置かれていた。資料の保存が検討されたときに、先生の遺志を生かすために、先生に指導を受け、研究を共にしてきた在日朝鮮人運動史研究会で資料集を刊行する作業をすることになった。資料の保存先である滋賀県立大学、奥様の張金順氏等の関係者の了解を得て編集作業に入った。編集作業参加を表明した研究会のメンバーが数十回にもわたり、資料を整理し、編年や収録しきれない資料の選択、資料年代の特定などの課題の検討・点検を行った。この作業場所には文化センター・アリランを提供していただいた。

いうまでもないが、先生の集めていた資料は研究会のメンバーですら初めてみる貴重な資料ばかりであった。先生自身が参加したと思われる会議資料やビラまでも含まれていた。これは作業に当たったメンバーの共通の感想で、今後の在日朝鮮人運動史とその社会研究には欠かせない資料ばかりであった。これまでに先生の刊行された『在日朝鮮人関係資料集成』(全五巻)、『朝鮮問題資料叢書』(全一五巻十補巻)に続く資料集であると位置づけられる。残念なことに頁数等の条件から一部を割愛せざるを得なかった。それらの資料は、滋賀県立大学が整理・閲覧ができるように準備中である。

なお、編集作業に当たったメンバーが解題も担当し、先生の教示を生かせるように努めた。この出版をお許しいただいた関係団体、極めて困難な出版状況の中で刊行を引き受けていただいた不二出版に深く感謝します。

朝鮮総督府 帝国議会説明資料 全17巻

概要——A4判・四面对付方式・上製本・総5、240頁(原本約21,000頁)

- 記本 —— ○ 第1回配本 —— 第1巻～第5巻 '94年5月刊 本体価格180,000円＋税
 - 第2回配本 —— 第6巻～第10巻 '94年9月刊 本体価格180,000円＋税
 - 第3回配本 —— 第11巻～第17巻 '98年6月刊 本体価格175,000円＋税
- 価格 —— 全17巻揃本体価格565,000円＋税
- 内容 —— ①朝鮮総督府作成の「帝国議会説明資料」を、日本及び韓国において収集可能なものを網羅。第1回～2回配本は、第65回帝国議会(昭和20年)までを収録。第2回～3回配本後、新たに発見された、大正6年～大正14年の部分を、第3回配本として復刻刊行。

③附録として、第10巻に、昭和12～13年「議会説明資料送付関係往復文書」を付す。また、全巻の「総目次・解説」を別冊として刊行予定。

● 原本提供 —— 韓国中央図書館・同記録保存所・社団法人中央日報協会・国立公文書館・国立国会図書館等。

● 推薦 —— 海野福寿・水野直樹・朴慶植・宮田節子

『朝鮮総督府 帝国議会説明資料』推薦文(再録)

戦時下強制連行問題などの基本的資料

朴慶植

旧朝鮮総督府各部署の帝国議会説明資料は朝鮮総督府による日本の朝鮮植民地支配の全般を知る上で不可欠の官庁側の資料である。私はこれまで戦時中の強制連行問題を調べるために旧日韓友邦協会にあった第八五回、第八六回帝国議会説明資料に若干眼を通し、利用したりした。現在この資料の多くが散佚しているという状況の中で、今回韓国中央図書館をはじめ日本の国立国会図書館などにあるものを集大成し、一九三三年(昭和八年)～四五年(昭和二十年)間のものを十巻にまとめて刊行されることは、朝鮮総督府の施政全般を研究する上で非常に有意義であり、研究者にとって大変ありがたいことである。

この資料の内容は総督府官房各課、警務局、鉄道局、司政局、財務局、殖産局、厚生局、専売局、通信局、農林局、法務局、学務局、労務局、交通局、鉱工局をはじめ朝鮮銀行、殖産銀行、東拓会社、日本産金会社など広範囲にわたり問答式の叙述になっている。この資料には、とくに戦時中のこと一般に知られていない内容のものが多く収録されているが、また官庁資料のための制約もあるので、より正確に、より詳細に知るためにはさらにこれを作成した各部署、各部門における基礎的な生の資料に当たる必要があることはいうまでもない。

今後この資料を十分に利用して日本の朝鮮植民地支配の研究がより一層進展することを期待してやまない次第である。

民青時報

在日本朝鮮民主青年同盟中央機関紙

日語版 第1號 (旬刊) 1947年7月5日

共委協力の陣頭に 反動派の参加許さぬ

我らはなにをなすべきか

当面する三問題

基本理論の正しき大衆化

七月七日から開始 本格的共同協議へ

共委公報 第六號

哀れ、反託派の 自殺的暴舉

全面的協力 登壇台問題

在日朝鮮人関係資料集成 戦後編 全10巻

●概要——A4判・上製・総4、100頁 「収録資料約300点、新聞・雑誌約60タイトル」

●構成・配本——第1巻——在日本朝鮮人連盟関係 1 (小林知子) 2000年9月

第2巻——在日本朝鮮人連盟関係 2 (小林知子) 本体価格159,000円+税

第3巻——在日本大韓民国居留民団関係 (宮本正明) ISBN4-9850-1500-2

第4巻——在日朝鮮統一民主戦線関係 (小林知子) 第2回配本 2000年9月

第5巻——在日朝鮮人職業名鑑・文化年鑑 (長澤 秀) 本体価格84,000円+税

第6巻——教科書・教育関係雑誌 (金 栄) ISBN4-9850-1503-7

第7巻——都立朝鮮人学校関係 (高柳俊男) 第3回配本 2000年12月

第8巻——朝鮮人刊行新聞・雑誌(1) (宮本正明) 本体価格159,000円+税

第9巻——朝鮮人刊行新聞・雑誌(2) (宮本正明) ISBN4-9850-1507-X

第10巻——朝鮮人刊行新聞・雑誌(3) (宮本正明) 第4回配本 2001年2月

●資料提供——滋賀県立大学図書館／文化センター・アリラン

●価 格——揃本体価格2800,000円+税 (各巻128,000円+税) 全巻完結

●朝鮮関係図書のご案内

姜在彦 編

朝鮮における日窒コンツェルン

日本の典型的新興財閥で電気化学工業の代表的企業である日本窒素(野口コンツェルン)の朝鮮進出と経営実態についての詳細な研究。それをめぐる朝鮮の農民・労働者の抵抗運動をも解明する。

●A5判・上製・396頁・本体価格5,000円+税／85年10月刊(残部少)

河合和男・金早雪・羽鳥敬彦・松永 達 共著

国策会社・東拓の研究

本書は、一九〇八年、朝鮮に設立された東拓(東洋拓殖株式会社)の多面的な事業活動を総体的に把握し、それを通じて、国策会社・東拓の全体像や歴史の意義に迫ろうとした共同研究書である。

●A5判・上製・328頁・本体価格7,800円+税／00年1月刊

表示価格は全て税別

不二出版

〒113-0023 東京都文京区向丘1-21-2
TEL 03-3813-1144
FAX 03-3813-1144
振替 0016012194084